

病歴・就労状況等申立書

(請求する病気やけがが複数ある場合は、それぞれ用紙を分けてご記入ください。)

No. — 枚中

病歴状況	傷病名				
発病日	昭和・平成・令和 年 月 日	初診日	昭和・平成・令和 年 月 日		
<p>記入する前にお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次の欄には障害の原因となった病気やけがについて、発病したときから現在までの経過を年月順に期間をあけずにご記入ください。 ○ 受診していた期間は、通院期間、受診回数、入院期間、治療経過、医師から指示された事項、転医・受診中止の理由、日常生活状況、就労状況などをご記入ください。 ○ 受診していなかった期間は、その理由、自覚症状の程度、日常生活状況、就労状況などについて具体的にご記入ください。 ○ 健康診断などで障害の原因となった病気やけがについて指摘されたこともご記入ください。 ○ 同一の医療機関を長期間受診していた場合、医療機関を長期間受診していなかった場合、発病から初診までが長期間の場合は、その期間を3年から5年ごとに区切ってご記入ください。 					
1	昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	発病したときの状態と発病から初診までの間の状況(先天性疾患は出生時から初診まで)			
2	昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況			
3	昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況			
4	昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況			
5	昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況			

※裏面もご記入ください。

就労・日常生活状況	1. 障害認定日(初診日から1年6月目または、それ以前に治った場合は治った日)頃と 2. 現在(請求日頃)の就労・日常生活状況等について該当する太枠内にご記入ください。
-----------	---

1. 障害認定日(昭和・平成・令和 年 月 日)頃の状況をご記入ください。

就労状況	就労していた場合	職種(仕事の内容)をご記入ください。	
	就労していた場合	通勤方法 通勤時間(片道) 時間 分	
	就労していた場合	出勤日数をご記入ください。	障害認定日の前月 日 障害認定日の前々月 日
	就労していた場合	仕事中や仕事が終わった時の身体の調子についてご記入ください。	
日常生活状況	就労していた場合	仕事をしていた(休職していた)理由をすべて○で囲んでください。 なお、オを選んだ場合は、具体的な理由を()内にご記入ください。	ア 体力に自信がなかったから イ 医師から働くことを止められていたから ウ 働く意欲がなかったから エ 働きたかったが適切な職場がなかったから オ その他(理由)
日常生活状況	日常生活状況	日常生活の制限について、該当する番号を○で囲んでください。 (1→自発的にできた 2→自発的にできたが援助が必要だった 3→自発的にできないが援助があればできた 4→できなかった)	着替え(1・2・3・4) 洗面(1・2・3・4) トイレ(1・2・3・4) 入浴(1・2・3・4) 食事(1・2・3・4) 散歩(1・2・3・4) 炊事(1・2・3・4) 洗濯(1・2・3・4) 掃除(1・2・3・4) 買物(1・2・3・4)
日常生活状況	日常生活状況	その他日常生活で不便に感じましたらご記入ください。	

2. 現在(請求日頃)の状況をご記入ください。

就労状況	就労している場合	職種(仕事の内容)をご記入ください。	
	就労している場合	通勤方法 通勤時間(片道) 時間 分	
	就労している場合	出勤日数をご記入ください。	請求日の前月 日 請求日の前々月 日
	就労している場合	仕事中や仕事が終わった時の身体の調子についてご記入ください。	
日常生活状況	就労していない場合	仕事をしていない(休職している)理由をすべて○で囲んでください。 なお、オを選んだ場合は、具体的な理由を()内にご記入ください。	ア 体力に自信がないから イ 医師から働くことを止められているから ウ 働く意欲がないから エ 働きたいが適切な職場がないから オ その他(理由)
日常生活状況	日常生活状況	日常生活の制限について、該当する番号を○で囲んでください。 (1→自発的にできる 2→自発的にできるが援助が必要である 3→自発的にできないが援助があればできる 4→できない)	着替え(1・2・3・4) 洗面(1・2・3・4) トイレ(1・2・3・4) 入浴(1・2・3・4) 食事(1・2・3・4) 散歩(1・2・3・4) 炊事(1・2・3・4) 洗濯(1・2・3・4) 掃除(1・2・3・4) 買物(1・2・3・4)
日常生活状況	日常生活状況	その他日常生活で不便に感じていることがありましたらご記入ください。	
障害者手帳	障害者手帳	障害者手帳の交付を受けていますか。	1 受けている 2 受けていない 3 申請中
障害者手帳	障害者手帳	交付されている障害者手帳の交付年月日、等級、障害名をご記入ください。 その他の手帳の場合は、その名称を()内にご記入ください。 ※略字の意味 身→身体障害者手帳 療→療育手帳 精→精神障害者保健福祉手帳 他→その他の手帳	① 身・精・療・他() 昭・平・令 年 月 日(級) 障害名()
障害者手帳	障害者手帳		② 身・精・療・他() 昭・平・令 年 月 日(級) 障害名()

上記のとおり相違ないことを申し立てます。

令和 年 月 日

請求者 現住所

代筆者 氏名
請求者からみた続柄()

氏名
電話番号 - -

病歴・就労状況等申立書(続紙)

No. — 枚中

病歴状況	傷病名	
<p>記入する前にお読みください。</p> <p>○ 次の欄には障害の原因となった病気やけがについて、<u>現在までの経過</u>を年月順に期間をあけずに記入し、左側の空欄に通番を記入してください。</p> <p>○ 受診していた期間は、通院期間、受診回数、入院期間、治療経過、医師から指示された事項、転医・受診中止の理由、日常生活状況、就労状況などを記入してください。</p> <p>○ 受診していなかった期間は、その理由、自覚症状の程度、日常生活状況、就労状況などについて具体的に記入してください。</p> <p>○ 同一の医療機関を長期間受診していた場合、医療機関を長期間受診していなかった場合、その期間を3年から5年ごとに区切って記入してください。</p>		
昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	発病したときの状態と発病から初診までの間の状況(先天性疾患は出生時から初診まで)	
昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況	
昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況	
昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況	
昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況	

※裏面も記入してください。

<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで</p> <p>受診した ・ 受診していない</p> <p>医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで</p> <p>受診した ・ 受診していない</p> <p>医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで</p> <p>受診した ・ 受診していない</p> <p>医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで</p> <p>受診した ・ 受診していない</p> <p>医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで</p> <p>受診した ・ 受診していない</p> <p>医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで</p> <p>受診した ・ 受診していない</p> <p>医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>

上記のとおり相違ないことを申し立てます。

令和 年 月 日

請求者 現住所

代筆者 氏名
請求者からみた続柄()

氏名
電話番号

— —